

満員御礼!

## 専門図書館への入口講座 第8回 日比谷カレッジ版 「映画・演劇資料の宝箱」—松竹大谷図書館—報告

2017年3月16日 於：千代田区立日比谷図書文化館  
発表者：武藤祥子

先月3月16日(木)に、日比谷公園内にある千代田区立日比谷図書文化館において、当館を紹介する講座「映画・演劇資料の宝箱—松竹大谷図書館」が開催されました。これは日比谷図書文化館が、利用者の情報アクセス支援の一部として、近隣の専門図書館を紹介する目的で開催している「専門図書館への入口講座」の第8回目として行われたものです。当館では、最近インターネットでの情報発信の機会は増えていますが、今回の講座は当館の機能や特徴について、一般の方に直にご説明をできる大変良い機会となりました。



講座当日のサインボード



前方の出張展示コーナー

今回の講座を主催して下さった日比谷図書文化館は、充実した図書館機能を完備しているのはもちろんのこと、千代田区の古代から現代までの歴史に関する常設展示、セミナールームやコンベンションホール等で開催される講座やセミナー、また全館無線LANが配備され平日は午後22時まで開館している事など、ビジネス支援から、歴史、アートまで幅広い情報を利用者へ提供している複合文化施設です。カフェやレストランもあり、資料の貸出、予約、インターネット・データベース席の利用に必要な利用登録も千代田区在住在勤を問わず申込ができるので、仕事帰りや出張ついでにふらっと立ち寄るだけでも充実した時間が過ごせます。



講座中の様子

今回の講座、実はこれまでの7回の講座は当日参加型だったのですが、今回初めての事前申込制となり、もし申込がなかったら、と若干不安もあったのですが、定員24名が受付開始から1週間で満員御礼受付終了、との嬉しい連絡を頂き、講座の事前準備に益々力が入りました。広いセミナールームをお借りできるという事で、所蔵資料の中から、歌舞伎『義経千本桜』と映画『男はつらいよ』の台本、プログラム、写真等を用意し、当日は机と展示用品をお借りして会場前方に出張展示致しました。



講座終了後の展示コーナー

講座は、まず当館の概要を簡単にご説明し、閉架式である当館の上手な利用方法や、台本や舞台写真等の出張展示資料をお見せしながら当館の多彩な所蔵資料の特徴について、また専門図書館ならではの図書管理システムでの工夫や、よくあるレファレンス例、そしてクラウドファンディングでデジタル化を行った資料について等をご説明しました。さらに日比谷での講座という事で、日比谷図書文化館の目の前にある日比谷野外音楽堂についてのお話をしました。実はこの野外音楽堂、新国劇の創始者である澤田正二郎が、大正12年の関東大震災の翌月に『勸進帳』などを無料で慰問上演した場所であり、また昭和4年に38歳の若さで亡くなった澤田の葬儀が執り行われた場所でもあります。講座当日は、

映画関連書架に置いて頂いた  
当館のチラシ



調べ物情報コーナーに置いて頂いた  
当館のチラシ



ちょうど当館閲覧室の「新国劇 100 年」展の開催初日にあたりましてので、澤田正二郎と野外音楽堂のエピソードをお話し、「新国劇 100 年」展のご紹介をして講座を終えました。

講座後は、参加して下さった方からの質問コーナーとなり、「閲覧席は何席か」「平日しか開館していないのか」「資料のコピーは申し込めるのか」など当館の利用に関することや、「専門図書館のスタッフはどのような経歴なのか」「司書資格は持っているのか」といった、スタッフのスキルに対するご質問がありました。また、講座終了後も、展示資料の周りに多くの方が集まって、資料を手にとってご質問下さったり、具体的にどのような調査が出来るかといった熱心なご質問を頂いたり、参加者の方々が当館に強い興味を持って参加して下さいました。

後日頂いた講演後のアンケート結果でも、「(当館を) 利用したいと思ったか」という質問にほとんどの方が「思った」と回答して下さい、この講座がまさに当館への入り口になったら何よりと思っています。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 3月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

| 劇場       | 演目                    | 台本 | スチール | プログラム | ポスター |
|----------|-----------------------|----|------|-------|------|
| 歌舞伎座     | 『明君行状記』               | ○  |      |       |      |
|          | 『義経千本桜 渡海屋・大物浦』       | ○  |      |       |      |
|          | 『神楽諷雲井曲毬 どんつく』        | ○  |      | ○     | ○    |
|          | 『双蝶々曲輪日記 引窓』          | ○  |      |       |      |
|          | 『けいせい浜真砂 女五右衛門』       | ○  |      |       |      |
|          | 『助六由縁江戸桜』             | ○  |      |       |      |
|          | 第38回俳優祭               | ○  |      | ○     |      |
| 新橋演舞場    | 『コメディ・トゥナイト!』         |    |      | ○     | ○    |
| 日生劇場     | 『音楽劇 マリウス』            | ○  |      | ○     | ○    |
|          | 『越路吹雪に捧ぐ』             |    |      | ○     |      |
| 松竹座(大阪)  | 『関西ジャニーズJr. 春のSHOW合戦』 |    |      | ○     | ○    |
| 海外公演(北京) | 『義経千本桜 鳥居前』           | ○  |      | ○     |      |
|          | 『恋飛脚大和往来 封印切』         | ○  |      |       |      |

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

|           |    |                                 |
|-----------|----|---------------------------------|
| 大阪新歌舞伎座   | 2月 | 『新歌舞伎座初座長山内恵介特別公演』プログラム         |
|           | 3月 | 『芸能生活四十周年記念川中美幸特別公演』プログラム       |
| 紀伊國屋ホール   | 3月 | 人形劇団プーク『うかれバイオリン』プログラム          |
| 国立劇場大劇場   | 2月 | 『舞楽』プログラム                       |
|           | 3月 | 『伊賀越道中双六』プログラム                  |
| 国立劇場小劇場   | 2月 | 『文楽公演』プログラム、床本                  |
| シアタークリエ   | 2月 | 『クリエミュージカルコレクション I I I』プログラム    |
| ザ・スズナリ    | 3月 | 流山児★事務所『だいこん・珍奇なゴドー』プログラム、台本    |
|           | 3月 | 『スパークリング・ヴォイス I I』プログラム         |
| シアターコクーン  | 2月 | 『陥没』プログラム                       |
| 新国立劇場小劇場  | 3月 | 『白蟻の巣』プログラム                     |
| 下北沢「劇」小劇場 | 3月 | 名取事務所『エレファント・ソング』プログラム、台本       |
| 下北沢小劇場B1  | 2月 | 劇団青い鳥『普通の生活みーんな、それなりにビョーキ』プログラム |
| スペース・ゼロ   | 2月 | 『舞台 真・國士無双』プログラム                |

(新着資料案内 他社公演資料 続き)

|              |    |                                  |
|--------------|----|----------------------------------|
| 世田谷パブリックシアター | 2月 | 『想稿・銀河鉄道の夜』プログラム                 |
| 帝国劇場         | 2月 | 『Endless SHOCK』プログラム             |
| 東京芸術劇場プレイハウス | 1月 | NODA・MAP『足跡姫』プログラム               |
| 博多座          | 3月 | 『熱血!ブラバン少女』プログラム                 |
| 博品館劇場        | 2月 | 『緋色八犬伝』プログラム                     |
|              |    | 『さくら色オカンの嫁入り』プログラム               |
|              |    | 『真・桃太郎伝説 鬼ノ城 蒼煉の乱』プログラム          |
|              | 3月 | 『Color of Life』プログラム             |
|              |    | ツキステ『SCHOOL REVOLUTION!』プログラム    |
| プーク人形劇場      | 2月 | 『はだかの王様』プログラム                    |
| 本多劇場         | 2月 | M&O plays『皆、シンデレラがやりたい。』プログラム、台本 |
|              | 3月 | 劇団東演『僕の東京日記』プログラム、台本             |
| 明治座          | 3月 | 『細雪』プログラム、台本                     |

■ 演劇雑誌 ■

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 『Bandaly』2017年(16号)                       | 『演劇研究』2016年40号               |
| 『Confetti』2017年APRIL                      | 『演劇博物館報』2017年Mar. Vol.113    |
| 『SePT倶楽部 information』<br>2017年3月号         | 『喝采』2017年6月,7月,7月特別号         |
| 『あぜくら』2017年3月号                            | 『近松研究所紀要』2017年(27号)          |
| 『えんぶ』2017年4月号                             | 『芸劇BUZZ』2017年4月-5月-6月号Vol.19 |
| 『アート・リサーチ』2017年3月(17号)                    | 『国立演芸場公演ガイド』平成29年4月号         |
| 『シアターガイド』2017年5月号                         | 『大向う』平成29年4月号                |
| 『ステージぴあ』2017年2+3月号(29)                    | 『伝統文化新聞』2017年(130号)          |
| 『テアトロ』2017年4月号                            | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成29年4月号      |
| 『ミュージカル』2017年3月-4月号                       | 『日本照明家協会誌』2017年3月号           |
| 『ラ・アルプ』2017年4月号                           | 『日本舞踊』69巻4月号                 |
| 『演劇映像学連携研究拠点ニューズレター』<br>2017 February(7号) | 『舞台芸術』Vol.20 Spring 2017     |
| 『演劇界』2017年5月号                             | 『舞台芸術通信PROBE』2017年3月(11号)    |
|   | 『文化座』177号                    |
|   | 『邦楽の友』平成29年4月号               |

■ 映画雑誌 ■

|                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 『FLIX』2017年4月号              | 『ロケーションジャパン』2017年4月号    |
| 『SCREEN』2017年5月号            | 『映画テレビ技術』2017年4月号       |
| 『TAKERU MAGAZINE PLUS』Vol.3 | 『映画学』2016年30号           |
| 『エキブ・ド・シネマ』No.53, No.92     | 『映画時報』2017年3月号          |
| 『キネマ旬報』2017年4月上旬号,4月下旬号     | 『映画秘宝』2017年4月号,5月号      |
| 『シナリオ』2017年5月号              | 『映画論叢』2017年(44号)        |
| 『シナリオ教室』2017年4月号            | 『衛星劇場プログラムガイド』2017年4月号  |
| 『ドラマ』2017年4月号               | 『機動戦士Zガンダムヒストリカ』00巻-12巻 |
| 『ムービー・スター』2017年5月号          | 『松竹(社報)』2017年(198号)     |

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

| タイトル                        | プログラム | プレス | ポスター | スチール写真 | 台本 |
|-----------------------------|-------|-----|------|--------|----|
| 『劇場版 ウルトラマンオーブ 絆の力、おかりします!』 | ○     |     |      |        |    |
| 『PとJK』                      | ○     | ○   | ○    |        | ○  |
| 『はじまりへの旅』                   | ○     | ○   | ○    |        |    |

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

## ■ 映画プログラム ■

『約束の地』 『天使の分け前』 『ひるね姫 知らないワタシの物語』  
『シリア・モナムール』 『キングコング：髑髏島の巨神』 『レゴバットマン ザ・ムービー』  
『T2 トレインスポッティング』

≫≫ **新規登録資料案内** 新しく登録した資料をご案内いたします

## ■ 書籍 ■

『優秀新人戯曲集 2017』 日本劇作家協会 (編) ブロンズ新社  
『市川海老蔵 継承者にして、革命児。』 テレビ東京  
『神さまからのお福分け 海老蔵縁起物図鑑』 市川海老蔵 - 11世 (著) 講談社  
『稲盛財団2011 第27回京都賞と助成金』 稲盛財団  
『かぶき手帖 2017年版』 伝統歌舞伎保存会+松竹+日本俳優協会 (編) 伝統歌舞伎保存会 [等]  
『日本劇映画作品目録 平成27年』 日本映画製作者連盟

≫≫ **資料提供** (2017年2月~3月)

※許可を得た方のみ掲載しております

### 出版

● 『泉鏡花記念館図録「鏡花」改訂版 2017年3月20日 泉鏡花記念館・(公財)金沢文化振興財団  
スチール写真『喜多村緑郎肖像』を図版として提供

### プログラム掲載

● 「二月花形歌舞伎」 2017年2月3日~26日 博多座  
図書『長谷川一夫画譜』よりグラビア (『雪之丞変化』『男の花道』)、『キネマ旬報』562号より広告 (『雪之丞変化』)、『演劇界』昭和44年5月号よりグラビア (『男の花道』) を公演プログラムの記事に提供

### 放送

● 『ザ・インタビュー トップランナーの肖像 賀来千賀子』2017年3月11日 18:00~18:54 BS朝日  
『黒蜥蜴』(昭和59年11月新橋演舞場) の演劇プログラムとスチール写真を提供

≫≫ **お知らせ**

## 公益財団法人公益法人協会のHP内の【寄付者への「感謝の言葉」】のページに 当館の「感謝の言葉」が掲載されております

「公益法人協会」とは、「公益活動を担う団体による自律的で創造的な公益活動を推進、支援することにより、社会における非営利セクターの役割の向上と発展に寄与すること」を目的とした協会です。

【寄付者への「感謝の言葉」】のページは、寄付の受け手側が寄付者に感謝し、多くの人が寄付の大切さと役割について考え、寄付に関心をよせ、行動をするきっかけとなることを目的としています。

当館のページは右記になります。URL → <http://www.kohokyo.or.jp/kifu/archives/1254>  
アクセスの上、ご覧いただけますと幸いです。

下の画像は当館のページの一部です



## \*\*\*資料保存セミナー「館内でもできる簡易修理」に参加して\*\*\*

開催日時：平成29年3月2日 午前10時～午後5時

主催：専門図書館協議会

参加者：酒井 恵

経年劣化に加え、利用頻度の高い資料ほど、傷みは増していく。  
ページが破れたり、背表紙が外れてしまったり……。

傷んだ資料を図書館内で修理するためのスキルを磨くべく、  
平成29年3月2日に行われた資料保存セミナー「館内でもできる簡易修理」に参加してきた。

今回は、専門図書館で所蔵が多いホチキス留めをされた「小冊子」と、ハードカバーでくまられた「くるみ製本」の修理について、午前10時～午後5時まで、一日かけて教わった。

資料の修復や保存容器の制作までを一貫して行っている株式会社資料保存器材の伊藤美樹さんと高田かおるさんを講師にお迎えし、参加者25名が2グループに分かれて、実習を受けた。

最初に教わったのは、ホチキス留めされた小冊子の補修方法について。  
資料全体がホチキスで留められている小冊子は、経年劣化でその金属部分がどんどん錆び、周りの紙にも錆びがついてしまったり、ホチキスからページ自体が外れてしまったりすることが多々ある。  
こんな時に、どう対処していけばよいのかを学ぶ。

工程は大きく4つ。

(1) ホチキスを取り外す。

ニッパーでホチキスを切断して引き抜くが、あまりに金属の劣化がひどい資料は金属自体が粉々になるので、その場合は、1ページごとにかけらを払いながら、取り除いていく。



ニッパーでホチキスを切断



あとは引き抜くの  
み



劣化した金属の粉が散らばる

(2) ドリル等をつかって、穴をあける。

金属でなく麻糸を使って綴じていくための穴を小冊子に開ける。  
開けた穴のフチの盛り上がっている部分を重しでつぶす。このひと手間で出来上がりの美しさに違いが！  
資料への負担を考えると電動のドリルが一番よい。

(3) 麻糸を使って、冊子を綴じる。

資料の縦のサイズの約3倍の長さの麻糸を使って、小冊子を縫っていく。  
糸が緩まないように気をつける。  
玉結びをした糸を重しでつぶすと平らになってさらに美しくなる。



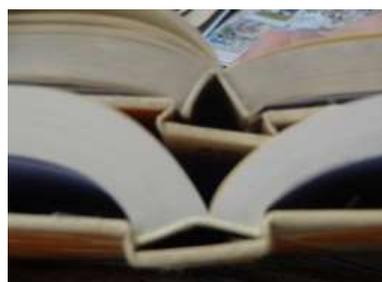
麻糸でしっ  
縫  
つ  
て  
い  
く

(4) 小冊子の背（表紙から裏表紙のノドの部分まで）を薄い和紙でくるむように貼る。⇒そして、完成！

お昼休憩を挟んで、次に教わったのは「くるみ製本」の修理。  
ハードカバーの表紙で、本体と分離してしまいそうなときにどう直していくのか。

(1) 解体。

ハードカバーと本体が完全に外れていない資料は、一度完全に分離させる。  
外した本体の背を紙やすりで磨く。



松竹大谷図書館にある同じ本2冊。  
ページを開くと、こんなにも背の状態が違ってしまう

(2) 背ごしらえ。

背ごしらえとは、本を開くとき、本の重さを支える部分を作ること。  
この部分がないと、本を支えられず、いずれ本が割れてしまう。

- ・背幅に合わせたものと、背幅+5~6センチにとった厚めの和紙を、背表紙に貼りつける。

(3) ホローチューブ作製。

背幅を3つ分とった中性紙を使って、本体とハードカバーの表紙とをつなぎ合わせるための芯を作る。

(4) 接合。

- ・本よりも、縦横が1センチほど大きい板目紙を用意しておく。
- ・本体とハードカバーの表紙とをしっかりと接合し、ヘラを使ってよく背をこすり、なじませる。
- ・事前に用意しておいた板目紙を本の真ん中あたりに差し込み、グツとしめる。
- ・そのまま、包帯をかなりきつく巻き（結び目は小口にくるようにする）、本全体に圧力をかけ、乾かす。



包帯できつく締め、本に圧力をかける

(5) ハネをつける。

- ・背ごしらえの時に貼っていた厚手の和紙のハネの部分（背の両サイドの和紙）の糊代を1センチほどにカットしてから、ハードカバーの見返し部分に糊づけする。
  - ・竹ひごをハードカバーのノド部分にある溝にいれて、板を上にあて重しを乗せ、圧力をかけながら乾燥させる。
- ⇒乾燥したら、完成。



背の両サイドに広がる和紙のハネ



修理完了！

先生の各工程のお手本を見たあとに、実践していく補修セミナーは、丸一日かかるものだったにも関わらず、あっという間に時間が過ぎ、大変有意義な時間を持てた。

実習を受ける中で、ドリルで開けた穴を重しでつぶすなど、本当にたったひと手間かけるだけで、出来栄の美しさが変わってくることや、様々なものが補修の道具として活用できることを学べた。

先生がドリルで穴を開ける際、段ボール箱をガムテープで止めたものをドリル台に使用していたり、大きめの板目紙と包帯を使って、本全体に圧力をかけたりする方法も教えてもらったことで、松竹大谷図書館にも身近にある素材が、ちょっとした工夫でこんなに便利な道具に変身するんだ！とまさに目から鱗！！



段ボールで作ったドリル台

松竹大谷図書館でも、ハードカバーの本はもちろん、昭和30・40年代の歌舞伎座の筋書や『演劇界』など、ホチキス留めされている資料を数多く所蔵している。

今回、教えてもらったこの補修の技術を活かして、松竹大谷図書館の資料を永く良い状態で保存・活用していけるように、頑張っていかななくては、と気持ちを新たにしました。

当館は3月2日から、2週間の春期特別整理休館だった。

せっかく学んだことを自分のものだけにするのはもったいない！！と強く感じたので、この休館中に、松竹大谷図書館内でも、補修講座を開催。

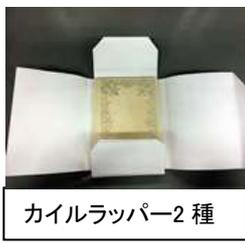
職員それぞれ、やる作業が盛りだくさんの休館中にも関わらず、時間をやりくりして、全員が参加してくれた。

今回学んだ「小冊子」と「くるみ製本」のほかにも、資料を保護する

「カイルラッパー」(2バージョン)、「大福帳」のつくり方など、各自が持っているノウハウを共有する時間を持って、とても良かった。



松竹大谷図書館内『演劇界』などを修理！



カイルラッパー2種



大福帳♪

2日の補修講座と、後日の図書館内での補修講座。とても実りのある2日間だった。

## 第 63 回所蔵資料展示 「新国劇 100 年」展

展示期間：2017 年 3 月 16 日～4 月 26 日  
於 閲覧室

3-4 月の展示は「新国劇 100 年」展です。今年はその創立より 100 年となる、節目の年となります。

新国劇は、新劇の芸術座を退団した澤田正二郎が「新しい国民劇の創造」を目指して結成した劇団です。今から 100 年前の大正 6[1917]年 4 月 18 日、新富座にて旗揚げされました。「新国劇」の劇団名は、澤田正二郎が早稲田大学英文科にいたころ坪内逍遙の文芸協会に属していた縁で、坪内逍遙が考案したといわれています。記念すべき初興行は不入りでしたが、座員 11 名と共に関西へ移り、松竹合名社の社長白井松次郎の勧めで道頓堀の弁天座を本拠とした後、立回りにスピード感をもたせた大衆受けする剣劇を創始し、行友李風作の『月形半平太』『国定忠治』を初演して大当たりをとるなど次第に人気を得、「澤正」の愛称で呼ばれるようになりました。大正 10[1921]年に東上し、大正 11[1922]年秋に本拠を大阪から浅草の公園劇場へ移した後は関西と同様人気を獲得、勢いはいよいよ増していきました。そして大正 12[1923]年 9 月 1 日、関東大震災が発生します。震災で東京の劇場がほとんど焼失した中、澤田正二郎は 10 月 17, 18, 19 日の 3 日間、日比谷新音楽堂で野外劇『勸進帳』等上演し、人々を慰安しました。その後、新橋演舞場や帝国劇場、邦楽座などの大劇場にも出演、剣劇のみならず多くの創作劇も上演し、大衆に親しまれる舞台を提供し続けましたが、昭和 4[1929]年 2 月新橋演舞場の公演中の 11 日、澤田正二郎は急性中耳炎のため休演、翌月の 3 月 4 日に 38 歳で急逝するという悲劇が起きました。

座長の死は、座員の相次ぐ脱退と芝居の不入りという危機を招きますが、劇団の若手座員だった辰巳柳太郎と島田正吾を抜擢し、また長谷川伸をはじめとした作家たちの支えもあり、劇団は再興へと向かいます。戦後は「剛」の辰巳、「柔」の島田」といわれたように、辰巳柳太郎と島田正吾、対照的な芸風の 2 人が並び立って劇団を牽引し、特に男性客の熱狂的な支持を得て、昭和 30 年代には絶頂期を迎えました。しかし時勢の変化もあり、劇団は徐々に衰退の道を辿ります。

昭和 62[1987]年、新国劇は創立 70 周年を迎え、8 月御園座、新橋演舞場での記念公演を最後に澤田家に新国劇の名称を返還し、その幕を閉じました。同年 10 月、笠原章を中心に新国劇の中堅メンバーによる「劇団若獅子」が結成されます。新国劇の精神を受け継いだ劇団若獅子は、平成 29[2017]年の本年、結成 30 周年記念を迎えます。

今回は、戦前・戦後にかけて人々の熱狂的な支持を集めた「新国劇」のスチール写真やプログラム、台本などの資料を展示いたします。

### 展示資料一覧

#### 《劇団創始者・澤田正二郎》●スチール写真

『国定忠治』行友李風作/国定忠治(澤田正二郎)

『大菩薩峠』中里介山原作/左より:[役名及び俳優不明],机龍之助(澤田正二郎)

『月形半平太』行友李風作/月形半平太(澤田正二郎)

『キリスト』佐藤紅緑作/左より:使徒ユダ(中井哲),イエス・キリスト(澤田正二郎)

『原敬』菊池寛作/原敬(澤田正二郎)

『罪と罰』ドストエフスキー原作、ロー・アービング脚色 大正 9[1920]年 10 月浪花座  
左より:ソニア(久松喜世子),ラスコルニコフ(澤田正二郎) 久松喜世子は大正 6[1917]年に澤田正二郎が関西へ発つ際に参加した女優。「新国劇の母」と呼ばれ、長年にわたり劇団を支えた。昭和 52[1977]年 1 月 3 日 90 歳で逝去

『原田甲斐』村上浪六原作 昭和 2[1927]年 1 月邦楽座

左より:お露(二葉早苗),萱野小介(鳥居正),原田甲斐(澤田正二郎)

#### 《澤田正二郎最後の舞台》

##### ●スチール写真,プログラム

『赤穂浪士 中篇』大佛次郎原作 金子洋文脚色 昭和 4[1929]年 2 月新橋演舞場/大石内蔵助(澤田正二郎)

●図書『三千六百五十日 苦闘十年史』澤田正二郎著 昭和 2[1927]年 7 月 1 日新国劇事務所発行 10 周年記念誌。  
表紙に描かれた、柳に飛びつく蛙の絵柄は「堅忍不拔」の新国劇の精神を表し、プログラムや舞台の幕に描かれた

●雑誌『新国劇』創刊号 昭和 3[1928]年 4 月 1 日新国劇事務所発行 劇団の手による初の雑誌。表紙右下に見えるマークは柳と蛙の印で、澤田正二郎の紋と同時に新国劇の印でもある

●台本『心の灯 浪人佐島左平太と大工兼吉』宇野信夫作 昭和 24[1949]年 9 月御園座 GHQ 検閲台本/表紙中央左側の赤い印は「CP」(検閲通過)印。「CP」は「Censorship Passed=検閲通過」という意味。その下の「26 aug 49」は昭和 24 年 8 月 26 日で許可が下りた日付。表紙右にある薄緑のマークは柳と蛙の印



昭和 4[1929]年 2 月新橋演舞場プログラム  
澤正最後の舞台

## 《新国劇を支えた人々・辰巳柳太郎と島田正吾》●スチール写真

『丹下左膳』林不忘原作 昭和 9[1934]年 12 月新宿第一劇場/丹下左膳(辰巳柳太郎)

『パレス・ホテル』中野實作 昭和 10[1935]年 3 月明治座/左より:諸岡進(辰巳柳太郎),妻春子(長島丸子)

『風雪地獄双誌』行友李風作,谷屋充監督 昭和 11[1936]年 11 月新宿第一劇場

左より:檜山内記(島田正吾),守屋九八郎(辰巳柳太郎)

『シラノ・ド・ベルジュラック』エドモン・ロスタン作 昭和 22[1947]年 2 月有楽座上演か?

シラノ・ド・ベルジュラック(島田正吾)

『関の弥太っぺ』長谷川伸作/関の弥太郎(島田正吾)

『王将』北条秀司作/坂田三吉(辰巳柳太郎)

『大菩薩峠』中山介山原作/左より:お浜(香川桂子),机龍之助(辰巳柳太郎)

『沓掛時次郎』長谷川伸作,谷屋充演出 昭和 28[1953]年 1 月明治座

左より:沓掛時次郎(島田正吾),おきぬ(香川桂子),太郎吉(後藤頼久)

『殺陣田村』澤田正二郎立案 昭和 32[1957]年 9 月新橋演舞場

大正 8[1919]年 10 月浪花座で初演され、新国劇伝統の立回りの演目として受け継がれている。謡曲『田村』にのって殺陣の基本ともなる型の数々を美しく見せる

『あ、同期の桜』榎本滋民作・演出 昭和 42[1967]年 2 月新橋演舞場

左より:水木一等飛行兵曹(桂広行),諸本文晴(大山克巳=大山勝巳),日野肇(緒形拳)

『一本刀土俵入』長谷川伸作,谷屋充演出 昭和 62[1987]年 8 月 26-31 日新橋演舞場

左より:お鳶(朝丘雪路),駒形茂兵衛(島田正吾)

『極付 國定忠治』行友李風作 昭和 62[1987]年 8 月 26-31 日新橋演舞場/國定忠治(辰巳柳太郎)

## 映画『武蔵と小次郎』●スチール写真

昭和 27[1952]年松竹京都 マキノ雅弘監督,八木隆一郎+鈴木兵吾脚本/宮本武蔵(辰巳柳太郎)

新国劇創立 35 周年記念映画。島田正吾は佐々木小次郎役で出演。同年舞台でも明治座他劇場で『宮本武蔵』を上演している

## ●図書

『天明』澤田正二郎著 大正 15[1926]年 9 月 1 日萬朝報社発行/澤田正二郎作の新聞小説を単行本化

『苦闘の跡(改訂版)』澤田正二郎著 昭和 3[1928]年 11 月 25 日柳蛙書房発行

澤田正二郎の自叙伝。インタビューも収録

『新国劇 澤田正二郎 舞臺の面影』竹田敏彦編著 昭和 4[1929]年 4 月 10 日かがみ社発行

澤田正二郎没後 1ヶ月で刊行された。多くの舞台写真が掲載されている全集。日比谷公園音楽堂(現在の日比谷公園大音楽堂)で行われた澤田正二郎の葬儀の写真も掲載されている

『ふり蛙』島田正吾著 昭和 53[1978]年 4 月 25 日青蛙房発行

舞台生活 55 年を振り返った書物。題字は辰巳柳太郎によるもの



『新国劇 澤田正二郎 舞臺の面影』

## ●プログラム「劇団若獅子結成二十周年記念公演 II」

平成 19[2007]年 9/16-9/21 三越劇場/劇団の結成 20 周年記念公演。澤田正二郎の生涯を劇化した『澤田正二郎物語 遥かなり新国劇』を上演。表紙は澤田正二郎

今回、展示する資料を選ぶため、戦前の各劇場のプログラムを書庫より出してみました。新橋演舞場、帝国劇場、浪花座、中座、御園座、大阪歌舞伎座、大名古屋劇場、南座、山手劇場とあらゆる地域のプログラムがあり、各地で精力的に公演を行っていたことがわかります。澤田正二郎の紋であると同時に新国劇の印でもある、柳に飛びつく蛙の絵柄が表紙に描かれたプログラムがほとんどですね。こちらのプログラムは今回展示をしておりませんが、すべて閲覧できますので、こちらもお興味のおありの方は、カウンターまでお尋ね下さい。



## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実にかつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2017（平成29）年3月にご支援いただきました

### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座  
歌舞伎座サービス株式会社  
歌舞伎座舞台株式会社  
松竹株式会社  
松竹衣裳株式会社  
株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社  
松竹芸能株式会社  
株式会社松竹サービスネットワーク  
松竹ブロードキャスティング株式会社  
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

### ■ 休館のお知らせ ■

平成29年のゴールデンウィーク中は、  
4月29日（土）～5月1日（月） 休館  
5月2日（火） 開館  
5月3日（水）～7日（日） 休館

となりります

### ■ 編集後記 ■

▼東銀座や築地の桜もいよいよ咲き出し、春もたけなわといった日々が続いております。この界限で桜がきれいに咲いている場所といえば、すぐ近くの京橋築地小学校、歌舞伎座裏にある築地川祝橋公園でしょうか。少し離れますが、新橋演舞場そばの築地川采女橋公園も、しだれ桜がきれいです。また、歌舞伎座の5階の屋上庭園にはシンボルツリーの「阿国桜」が植えられています。そういえば、4月の歌舞伎座は舞台いっぱい桜が広がる『醍醐の花見』や『奴道成寺』、そして、一本の桜が話の展開に重要な役割を果たす『熊谷陣屋』、と桜が出てくる演目が全6演目中3つもあります。舞台の桜を愛で、街の桜を愛で…という風に、楽しむのも良いですね。もう少し足を延ばせば、約100本の桜の木がある浜離宮恩賜庭園もありますし、聖路加ガーデン、佃大橋付近の明石町河岸公園も、桜が見事です。当館へご来館された折には、是非桜の見物も！この編集後記を書いている6日現在では、週末以降のお天気がいささか不安ですが、できるだけ長く桜を楽しめますように。



● 利用案内 ●  
開館時間  
平日午前10時～午後5時  
休館日  
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間  
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。  
入館料 無料  
館内閲覧のみ  
● 交通案内 ●  
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分  
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館  
〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / TEL 03-5550-1694  
公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>  
公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>